

事業 8	ものづくり 基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和３年度		
	事業名	事業 8 新商品開発等に対する支援 (1)新商品開発に対する助成		予算額	3,500 千円	
				決算額	2,973 千円	
	事業概要	<p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(1)新商品開発に対する助成 中小製造事業者を対象に、新商品等の開発に要する経費等に対して助成することにより、中小製造事業者の開発意欲の向上や製造業の振興・発展を図ります。</p>		取組 状況	事業結果	
	成果目標	新商品等開発支援件数 7件				<p>①開発事業 ■申請件数：2件 ■採択件数：2件</p> <p>②改善事業 ■申請件数：5件</p> <p>採択企業に対しては、試作品の完成に向け随時フォローアップを行い、全ての事業を年度内に完了することができた。 併せて産業財産権出願事業補助金の活用も推進し、企業競争力の強化につなげた。</p>
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流	進捗 率等	R 4 . 3 . 31 現在	新商品等開発支援件数 7件 7件 (達成率100%)
	産業振興 プラン 位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価	<p>次年度に向けた改善点 ・ 目標の未達成理由等</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により低迷した業績回復に向け販路開拓と商品開発は事業者の主要課題であるため、周知活動を継続し、申請件数増加に努める。今後は、従来の商品開発に対する支援のみならず、開発後の販路開拓に繋がるノウハウの蓄積等も支援できる総合的な支援制度を検討していく。</p>
		施策	新製品・技術開発等に対する支援			
		分野	商工・物流			
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)		

事業 8	ものづくり基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和３年度		
	事業名	事業 8 新商品開発等に対する支援 (2)デザイナー等とのコラボレーションに対する支援		予算額	6,437 千円	
				決算額	6,374 千円	
	事業概要	<p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(2)デザイナー等とのコラボレーションに対する支援 デザイナー等とものづくり産業の事業所等をマッチングさせ、両者の協働によって新商品等を開発する「ニューウェーブしずおか開発事業」や「しずおかMIRAI designプロジェクト」を実施し、新商品開発の促進を図ります。</p>		取組状況	事業結果	
	成果目標	(ニューウェーブしずおか創造事業) 開発点数 30 点				<p>■（ニューウェーブしずおか創造事業） 地元の意欲的地場産業者が参加し、プロデューサー指導のもと公募デザイナーとの協働により、デザイン開発を実施。試作を行い、PR ツール等を作成しつつHP 等で告知し、「東京インターナショナルギフトショー」に出展。販路開拓を実施した。 参加事業者：6 者 公募デザイナー：6 者 開発点数：20点 展示会開催：1 回（東京インターナショナルギフトショー）</p>
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流		進捗率等	R 4 . 3 . 31 現在
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		施策	新製品・技術開発等に対する支援		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		新製品・技術開発等に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他 (特記事項)			
					<p>(ニューウェーブ) 開発点数は開発内容により大きく左右されるため開発は充分に実施されている。今後は開発品の一層の商品化を図っていく必要がある。</p>	
					<p>(ニューウェーブしずおか創造事業) 開発点数 30 点 20点 (達成率：67%)</p>	

事業	ものづくり基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和３年度			
	事業名	事業８ 新商品開発等に対する支援 (3)専門家の指導による新商品開発支援プロジェクトの実施		予算額	129,371,100 の一部 千円		
				決算額	123,573,649 の一部 千円		
	事業概要	<p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(3)専門家の指導による新商品開発支援プロジェクトの実施 専門家による指導のもと、中小企業が新商品開発から販売まで一貫したマーケティング手法を学ぶ「静岡おみやプロジェクト」により、新商品開発のノウハウ習得等を支援します。</p>		取組状況	事業結果	<p>【静岡おみやプロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト期間 令和２年6月中旬～令和３年３月末 ・上限枠：６社 ・マーケティング戦略に基づいた５商品が２月時点で完成。 	
	成果目標	プロジェクト参加企業数６社					
	8	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	プロジェクト参加企業数６社 6社 (達成率：100%)
		産業振興プラン位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>コロナ禍でお土産の需要が減っていることもあり、応募事業者が思わしくないため、事業テーマの見直しが必要。</p>
			施策	新製品・技術開発等に対する支援			
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係	その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和３年度			
	事業名	事業９ 産業財産権出願に対する助成		予算額	1,300 千円		
				決算額	800 千円		
	事業概要	<p>産業財産権の出願に要する経費等に対して助成することにより、中小製造事業者の技術開発等の意欲向上や産業財産権保護の必要性に対する意識啓発を図ります。</p> <p>また、日本貿易振興機構（JETRO）では海外における知的財産権の保護に関する相談を受け付けているため、市内企業等から相談があった場合には窓口を案内するなど、連携した支援を実施していきます。</p>		取組状況	事業結果	<p>産業財産権出願を完了していることが他社への牽制となる。出願件数は目標値を下回ったが、申請企業の知財の保護に対する意欲が見られた。</p> <p>■特許出願 : 7件 ■実用新案登録出願 : 1件</p>	
	成果目標	産業財産権出願支援件数 13件					
	9	分野	商工・物流	進捗率等	R 4 . 3 . 31 現在	産業財産権出願支援件数 13件	8件 (達成率62%)
		総合計画の位置付け(分野別)	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	知財の保護、活用により新たな付加価値創出に繋がるケースがある。新型コロナウイルス感染症の影響により低迷した業績回復のため、申請件数増加に努める。
			施策	新商品・技術開発等に対する支援			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	政策			
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

事業 10	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (1)事業高度化機械設備設置事業補助金		予算額	61,349 千円	
				決算額	61,349 千円	
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(1)事業高度化機械設備設置事業補助金 中小製造事業所に対し、生産性の向上に資すると認められる機械設備設置経費に対する助成を行うことにより、地域の産業の活性化及び高度化を図ります。</p>		取組 状況	事業結果	
	成果目標	機械設備設置件数 23件				<p>■補助金交付件数：25件 ■補助金交付金額：61,349千円</p> <p>企業や金融機関からの問い合わせに対しては、早期に対応し、積極的に訪問活動を実施。申請の支援を行うとともに事業課題のヒアリング等も実施、本補助金以外の支援にもつなげられるよう活動を行った。</p>
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進 捗 率 等	R 4 . 3 . 31 現在
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事 業 評 価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)		<p>機械設備設置件数 25件 (達成率：109%)</p> <p>製造業全体において、生産性向上及び持続可能な社会の実現のために省エネに取り組むことが推進されている。この事業環境変化への対応が課題となっているため、令和４年度からは生産性向上に加え、省エネに資する機械設備の設置事業を補助対象とし、補助率を10%（通常は5%）とする。</p>	

事業 10	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (2)現場改善支援事業		予算額	64,117千円のうちの一部	
				決算額	64,117千円のうちの一部	
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(2)現場改善支援事業 市内中小企業が抱える経営課題の解決に向け、企業OBを中心とした経験豊かな専門アドバイザーを派遣し、現場作業改善（5S）や技術力向上、製品の高付加価値化を支援するほか、AIやIoTに関する相談等についても支援します。</p>		取組 状況	事業結果 <ul style="list-style-type: none"> ■現場改善支援事業所数：16事業所 ■成果発表会：3講座（現場改善関連2講座、IT関連2講座） 140名参加 	
	成果目標	現場改善支援事業所数 8者				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R4.3.31 現在
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評 価	現場改善支援事業所数 8者 16者 (達成率：200%)
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化				
産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流				
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・業務改善の手法ごとの専門性が異なるため、社内の人材育成は、中小企業では困難であるものの、経営環境の変化に対応するため、事業内容も変化を続けている中で、業務改善の取組みを、企業において継続させることが必要となっている。	
	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)			

事業 10	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (3)生産性向上特別措置法に係る先端設備等導入計画の認定		予算額	- 千円	
				決算額	- 千円	
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(3)生産性向上特別措置法に係る先端設備等導入計画の認定 先端設備等導入計画について市が認定を行い、取得した先端設備について、初年度から3年分の固定資産税軽減措置を受けることができるほか、認定を受けた企業が中小企業融資制度を利用するときには、信用保証料の一部を補助します。</p>		取組 状況	事業結果 <ul style="list-style-type: none"> ■新規認定件数：93件 ■変更認定件数：59件 	
	成果目標	新規認定数150件				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R4.3.31 現在
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価	新規認定数150件 93件 (達成率：62%)
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流			
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	今後も適切に認定事務の執行をする。
	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)			

事業 10	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (4) I T 技術の活用・促進に関する検討		予算額	6,320 千円	
				決算額	6,320 千円	
	事業概要	生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。 (4) I T 技術の活用・促進に関する検討 I T 技術導入に対する状況や姿勢は企業によって差があるため、静岡県 I o T 活用研究会や静岡商工会議所の I T 支援プロジェクトチーム等と連携しながら、きめ細かな支援策について検討を進めます。		取組 状況 事業結果	■静岡商工会議所と連携してITなんでも相談窓口を設置。 ■窓口相談、巡回指導、専門家派遣、セミナーを実施し、IT導入の促進並びに支援に努めた。	
	成果目標	IT導入に関する支援件数 目標150件				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流	進捗 率等	R 4 . 3 . 31 現在	IT 導入に関する支援件数 目標150件 242件 (達成率161%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価 次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	今後も、コロナ対応のほかDX推進など、デジタル活用に向けた相談ニーズが多く見込まれる。このことから、各種デジタル関連の支援体制の強化を図っていく。
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流			
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
	事業名	事業11 事業承継に対する支援		予算額	6,800 千円	
				決算額	5,665 千円	
	事業概要	<p>市内中小企業が円滑な事業承継を行うことは、次世代に技術やノウハウを引き継ぐとともに、雇用を確保し、市内経済活動への貢献を続けることにつながるため、国の動きに連動するとともに、関係機関と連携のもと、事業承継の支援体制を強化します。</p> <p>(1)相談及び相談者の課題等に応じた専門家の選定等 (2)専門家の派遣 (3)啓発セミナーの開催及びチラシ等による周知</p>		取組状況	事業結果	<p>■静岡商工会議所との連携により、事業承継に係る支援体制を構築。 ■経営者等への啓発をはじめ、事業承継に関する相談及び専門家派遣の支援を行った。</p>
	成果目標	専門家派遣を通じた支援件数 80件				
	11	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R4.3.31 現在	専門家派遣を通じた支援件数 80件	37件 (達成率：46%)
	産業振興プラン位置付け	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	積極的なアプローチや広報ができておらず、目標を大きく下回った。必要性も検証し事業の見直しが必要。		
		施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化				
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
	事業名	事業12 中小企業融資制度による支援		予算額	167,095 千円	
				決算額	62,466 千円	
	事業概要	<p>市内中小企業が経営上必要な資金を金融機関からの融資を受ける際、利息及び保証料の一部を助成します。</p> <p>(1)各貸付金に対する利息補給 (市内16取扱金融機関に対し、上期・下期に利息補給)</p> <p>(2)小規模事業者経営改善（マル経）資金に対する利息補給 (借入者の委任を受けた商工会等に対し、年1回利息補給)</p> <p>(3)信用保証料に対する保証料補給 (静岡県信用保証協会の信用保証料の一部を補給)</p>	取組状況	事業結果	<p>【中小企業融資制度】</p> <p>■ 3年間実質無利息の新型コロナウイルス関連の県制度融資が令和3年度も継続され、市制度融資の利用件数はコロナ前の状況まで回復しなかったが、県制度融資では対応できない創業支援資金8件、短期経営改善資金280件、産業振興資金252件の受付実績の成果があった。</p>	
	成果目標	融資制度申込件数 600件				
	12	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	融資制度申込件数 600件 584件 (達成率：97%)
		総合計画の位置付け(分野別)	<p>政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります</p> <p>施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化</p>	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>・新型コロナ関連の県制度融資は、時限的措置のため、終了後は市制度融資の利用が見込まれる。</p> <p>・事業者や金融機関からの情報収集により、時勢や状況に応じたより良い融資制度に向け、見直しを図っていく。</p> <p>・各制度融資、保証料補給事業等、市内事業者のためになる市の施策を説明会などを利用して引き続き周知していく。</p>
産業振興プラン位置付け		<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります</p> <p>施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化</p>				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)			

事業 13	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
	事業名	事業13 企業OB人材等の活用		予算額	1,900 千円	
				決算額	1,673 千円	
	事業概要	<p>企業と企業OB人材等とのマッチングの機会を提供することで、企業OB人材等が持つ知識・経験・ノウハウ等を活用し、企業が持つ様々な経営課題の解決を図る取り組みを推し進めます。</p>		取組状況	事業結果	<p>■新現役交流会の開催 経営課題を抱える中小企業と、専門的な経験・知識を有する企業OB等（＝新現役）とのマッチングを目的とした交流会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業名：第4回 静岡市新現役交流会 ・日時：令和3年8月25日（水）13:00~17:30 ・場所：しずおか焼津信用金庫2階大会議室 静岡信用金庫研修センター大会議室 ・参加企業数：21社 ・参加新現役数：75名 ・マッチング率：12社/20社≒60.0%
	成果目標	マッチング率 50%（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合）				
	総合計画の位置付け（分野別）	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	マッチング率 50%（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合） 60% (達成率：120%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業評価	オンライン形式により実施しているが、対面式とは異なり、信頼関係の構築には一定の時間を要することから、関係機関との連携及び参加企業に対するフォローを強化していく。今後は、応分の負担による金融機関との関係構築に取り組んでいく。
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	事業評価		
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

事業 14	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度			
	事業名	事業14 中小企業等の表彰事業 (1)CSR活動表彰事業		予算額	2,012 千円		
				決算額	862 千円		
	事業概要	<p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会 で企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乘せします。</p> <p>(1)CSR活動表彰事業 事業活動の維持拡大と社会的健全性のある経営を実践する中小企業を表彰することで、当該企業の企業価値の向上、経営基盤や競争力の強化を図ります。</p>		取組 状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■表彰企業数：6件 ■表彰企業の情報発信：7件 	
	成果目標	表彰企業数：4件					
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R4.3.31 現在	表彰企業数：4件 6件 (達成率：150%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化				
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	経済団体や中小企業が集まる場での直接的な制度の周知など、応募件数を増やすための取組を行う。また、金融機関を通じて、表彰企業のインセンティブについて周知を促す。 市民局、また企画局が実施するSDGsのイベント等と連携し、更なる表彰企業の情報発信を実施していく。
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)				

事業 14	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
	事業名	事業14 中小企業等の表彰事業 (2)中小事業者技術表彰事業		予算額	987 千円	
				決算額	501 千円	
	事業概要	<p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会にて企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乘せします。</p> <p>(2)中小事業者技術表彰事業 新規又は独創性の高い技術を持ち、意欲的に事業活動を展開している中小製造事業所を表彰することにより、技術開発意欲の向上等を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■中小製造者の技術表彰制度の実施 ■表彰事業者数 4社 ■関係機関や事業者への訪問を通じて募集活動を行い、応募事業者の増加に努めた。 また、受賞事業者のテレビや新聞、雑誌等のメディアへの露出機会を増やすことで、制度自体の認知度向上を図った。 	
	成果目標	受賞事業者が広報された件数 3件				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗率等	R4.3.31 現在
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評 価	受賞事業者が広報された件数 3件 (達成率100%)
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	分野	商工・物流				
	産業振興 プラン 位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評 価	■表彰事業の認知度向上のため、今後も継続して各支援機関を通じた企業への情報提供に取り組む。
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化				
分野		商工・物流				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
	事業名	事業14 中小企業等の表彰事業 (3)多様な人材の活躍応援事業所表彰事業		予算額	1,701 千円	
				決算額	174 千円	
	事業概要	<p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会にて企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乗せします。</p> <p>(3)多様な人材の活躍応援事業所表彰事業 主に女性をはじめとした多様な人材の活躍促進に積極的に取組む企業を表彰することで、市内企業における仕事と生活の両立や多様な人材が活躍できる職場環境の実現を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ・企業表彰式の開催 ・いきいきワークスタイル通信の更新 ・表彰企業紹介冊子の作成 	
	成果目標	表彰企業数 5件				
	14	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業評価	表彰企業数 5件 8件 (達成率：160%)
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等		
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)			
					募集の広報を手厚くし、表彰企業数を確保する。	

ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度	
事業名	事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (1)「ホビ－のまち静岡」推進事業	予算額	81,938 千円	
		決算額	79,443 千円	
事業概要	<p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(1)「ホビ－のまち静岡」推進事業 本市の地域資源であるホビ－を活用し、「ホビ－のまち静岡」として市内外に情報発信することで、市のブランド化及び地域経済の活性化を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ホビ－推進協議会静岡が実施するホビ－のまち静岡推進事業（静岡ホビ－スクエアの運営等）に対し、補助金の交付等支援を実施 補助金交付 1件 ・静岡ホビ－スクエアの維持管理業務の実施 施設修繕 1件
成果目標	「ホビ－のまち静岡」の認知度 30%			
総合計画の位置付け（分野別）	分野	観光・交流	進捗率等	R4.3.31 現在
	政策	静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します		
産業振興プラン位置付け	施策	模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等
	分野	観光・交流		
担当課等	政策	静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します	その他（特記事項）	引き続き、ホビ－推進協議会静岡と連携し、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等を踏まえ、内容、時期及び対象を見極め、効果的なシティプロモーション推進に取り組んでいく。
	施策	模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり		

事業 15	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
	事業名	事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (2)地域産業振興ブランド認証事業	予算額		3,393 千円	
			決算額		1,931 千円	
	事業概要	<p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(2)地域産業振興ブランド認証事業 市民投票で「100年先まで大切に残していきたい逸品」として選ばれた商品を「しずおか葵プレミアムAWARD」として認証し、PRや企業支援を行うことで、本市のシテプロモーションの推進及び地域経済の活性化を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>■PRイベント実績</p> <p>①WeWork新宿展示（7/14） ②清水エスパルス ホームゲーム（パンフレット配布）（8/9） ③地場産業フェスティバル（8/13） ④ガモールマルシェ 販売会（9/23-26） ⑤清水エスパルス パブリックビューイング（PRブース）（10/24） ⑥産業フェアしずおか2021（11/27-28） ⑦しずか PR展示・販売（1/8-31）</p>	
	成果目標	展示販売会等実施回数 7回				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	展示販売会等実施回数 7回 (達成率：100%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	継続性・発展性のある制度となるよう、事業全体のあり方を検討するとともに、過年度認証品のPR及び販売促進支援を実施し、市民へのブランド定着を図る。
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流			
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度				
	事業名	事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (3)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業		予算額	(協議会への負担金) 1,350 千円			
				決算額	(協議会への負担金) 1,350 千円			
	事業概要	<p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(3)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業</p> <p>中山間地「オクシズ」に漆の木を植林するとともに、漆を採取したり、塗ったりする職人を育成し、地域の文化財を守る仕組みを築き、「漆-japan-の里」としてのブランド化を図るとともに、伝統工芸技術の継承を図ります。</p>		取組状況	事業結果	<p>(3)官民連携の下、H30年度末に設立した「オクシズ『漆の里』協議会」を主体に、都市部との交流促進、生産振興や6次産業化の推進を通じ、漆の地産地消体制の構築・静岡の漆文化-Shizuoka japan-のブランド化を目指します。</p> <p>【令和3年度実績】※協議会事業実績 （調査事業）試験植樹、成分分析の実施 （付加価値向上事業）商品開発（アクセサリーの試作） （普及啓発・人材育成・情報発信事業）「オクシズ『漆』の学校」の開催、漆掻き道具調査、各種イベントへのブース出展、SNS等での情報発信 ほか</p>		
	成果目標	漆植樹面積 0.36ha						
	15	総合計画の位置付け(分野別)	分野	農林水産	進捗率等	R4.3.31 現在	漆植樹面積 0.36ha	0.47ha (達成率：131%)
		産業振興プラン位置付け	政策	多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	市内産漆の地産地消体制の構築を目指し、試験植樹を含む協議会の各種事業を計画的に展開していくと共に、事業のブランド化を図ることで市民や民間企業等の理解を深め、事業継続のための資金開発、体制づくりに繋げていく必要がある。	
			施策	地域資源を活かした新しい産業の創出				
	担当課等	経済局農林水産部 中山間地振興課 企画係		その他(特記事項)	※H31～R3 農水省山村活性化振興交付金事業			

ものづくり基本計画		方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
事業名	事業16 地場産品の情報発信・愛用推進	予算額		277,715 千円		
		決算額		285,569 千円		
事業概要	<p>JR静岡駅構内の駿府楽市と郊外に立地する駿府匠宿において、本市の伝統工芸品を中心とした地場産品の展示や各種PRによる情報発信を行います。</p> <p>なお、駿府匠宿の現状は、来場者数は減少傾向にあり、伝統工芸の情報発信拠点としての役割が弱くなっています。このような状況を改善するため、経営面からのアプローチ、あり方からのアプローチを行い、伝統工芸の振興と持続可能な施設運営を目指しているところです。</p>	取組状況	事業結果	<p>■ JR静岡駅アスティ静岡西館「駿府楽市」内の静岡市特産品展示コーナーにおいて、年間26回の展示会を開催した。</p> <p>・R3来場者数：204,460人</p> <p>・隣接する駿府楽市での工芸品のR3年間売上金額：30,909千円</p> <p>■ 駿府匠宿 来場者数 100,249人 駿府匠宿 創作体験者数 22,512人 駿府匠宿 利用者満足度 95.0%</p> <p>■ 施設のあり方を検討した結果、伝統工芸への直接的な訴求でなく、間接的なアプローチにより創作体験の利用へ繋げる手法により、創作体験者の増加を目指す方針へ転換。そのため、令和3年度からは施設の目標を「来場者数」から「創作体験者数」に変更し、「伝統工芸を身近に感じ、未来に繋ぐ」を目指す施設の姿とした。</p>		
				成果目標	<p>①隣接する駿府楽市での工芸品の年間売上金額 25,947千円</p> <p>②駿府匠宿創作体験者数者数 18,300人</p> <p>③当該施設利用者満足度 90%以上</p>	
16	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	<p>①隣接する駿府楽市での工芸品の年間売上金額 25,947千円</p> <p>②22,512人</p> <p>③95%</p>
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			<p>①30,909千円 (達成率：119%)</p> <p>(達成率：123%)</p> <p>(達成率：106%)</p>
産業振興プラン位置付け	政策	施策	新市場・販路開拓に対する支援	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■ JR静岡駅アスティ静岡西館「駿府楽市」内の静岡市特産品展示コーナーについては、目標の売上金額を大幅に上回ることができたが、展示内容やPR方法が前例踏襲的で、売上金額についてはコロナ情勢に左右されている部分が大い。来場者が安全に鑑賞・購入できる環境を整備するとともに、駿府楽市の経営改善を踏まえた展示コーナー運営方法の再検討が必要。</p> <p>■ 駿府匠宿では、指定管理者が変更となり、民間事業者の創意工夫により、創作体験の内容の見直し、SNSを活用した広報戦略の強化などが功を奏し、創作体験者数、利用者満足度とも目標を上回った。体験利用者の増加により、感染症予防対策の強化が必要であり、指定管理者と協力して、ソフト対策とハード対策の両面から対策を講じ、安定した運営を継続していく。</p>
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係	その他 (特記事項)				